

日本語と韓国語の漢語動詞について

—日本語教育の立場から—

韓 先 熙

はじめに

韓国の学生に日本語を教えていると、しばしば次のような誤用例にぶつかる。

- (1) すべて同じであることが判明になりました。
- (2) 金大中大統領が当選になりました。
- (3) はやく経済が安定され、物価がやすくなることを期待している。

どうしてこのような間違いが出てくるのか。その原因として考えられるのは母国語の影響である。つまり韓国語の影響であるが、上の誤用例の文をそのまま韓国語に変えてみると韓国語としては間違いのない正しい文になる。

- (1) 모두 같다는 것이 판명이 되었습니다.

[toeəssumnida] (되다の過去形)

- (2) 김대중 대통령이 당선이 되었습니다.

[toeəssumnida] (되다の過去形)

- (3) 빨리 경제가 안정되어, 물가가 싸지기를 기대하고 있다.

[toeə]

これらを見ると[判明になる][当選になる][安定される]のところに韓国語の되다[toeda]という言葉がついていることがわかる。間違っているとこを正しい日本語に変えてみると次のようになる。

[判明になりました] → [判明しました]

[当選になりました] → [当選しました]

[経済が安定され] → [経済が安定し]

要するに[漢語+する]となるべきところが、誤用例では[漢語+になる]または[漢語+される]となっていたわけである。それらの漢語が韓国では[~なる][~される]の意味を持つ되다[toeda]で表現されるため、韓国語の되다をそのまま日本語に変えたからである。日本語と韓国語は共通する漢語動詞が多く、よく使われているが形態の面からはすこしずれているところがある。一般的に

[漢語 + する]は → [漢語 + 하다[hada]],
[漢語 + される]は → [漢語 + 되다[toeda]]

とされている。また

[漢語 + する]が → [漢語 + 되다[toeda]]

にあたる場合もあるのである。되다[toeda]はすでに指摘したように韓国語では「~なる」と「~される」の両方の意味を持つものだが、韓国の学生は日本語の「漢語+する」のところを되다がつく韓国語の漢語動詞のように「漢語+になる」^{※1}または「漢語+される」に変えてしまうのである。このような間違いは、何回もくりかえされ、韓国の学生にとってはかなりややこしい問題なのである。

日本語と韓国語のこのような対応のずれについては、文法的考察を行ったいくつかの対照研究(生越(1982)、韓(1990)、辛(1993))があり、日本語教育の面からは、柴(1986)、生越(1992)がある。柴(1986)では韓国語の干渉について指摘し、誤用の対策について論じている。また生越(1992)では学生の実際の誤用を用いて誤用パターンについて分析を行っている。

本稿では上の研究を踏まえ、韓国語訳の資料を用い、되다[toeda]がつく漢語動詞を調べ、どんなときに「漢語+する」または「漢語+される」などにあたるのか、またどんなときに間違いが起きるのかを考えて行きたいと思う。そうすることによって日本語と韓国語の対応とずれをよりはっきりさせ、韓国の学生が日本語を学ぶときどのような点に留意すべきかについて考えてみたいと思う。

1. 全体の傾向

日本語の漢語動詞が韓国語ではどのように表現されるのかを調べるために、韓国で出版されている「日韓対訳」^{註2}を用いた。日本語の漢語動詞にあたる韓国語の表現をとり上げ、そのなかから韓国語の하다[hada]、되다[toeda]のどちらかにあたるかで、それぞれ「하다」「되다」にそって分類し、さらに辞書を用いて自動詞と他動詞^{註3}に分けて分類した。取り上げた日本語の漢語は韓国語の漢語の意味と形が同じものだけを対象にした。その結果をまとめたのが次の「表」である。

韓国語	日本語	計	%
하다[hada] で訳された もの	1)自動詞の漢語+する ^{註4}	166	28.9
	2)他動詞の漢語+する	247	43.0
	3)自、他両方に用いられる漢語+する	45	7.8
되다[toeda] で訳された もの	1)自動詞の漢語+する	18	3.1
	2)他動詞の漢語+する	4	0.7
	3)自、他両方に用いられる漢語+する	19	3.3
	4)「漢語+してある」	8	1.4
	5)「漢語+される」	65	11.3
	6)「漢語+になる」	2	0.4
合計		574	100

以上でこの表をもとに、各々の漢語の形式について、日本語と韓国語とを考察していきたい。

2. 하다[hada]で訳されたもの

2.1 自動詞の漢語+する

表を見ると、日本語の漢語動詞は韓国語하다[hada]で訳された場合(合計458例、79.8%)が圧倒的に多い。そのなかでも他動詞の場合(247例、43.0%)がもっとも多い。まず自動詞の例を見てみる。

(4) 반드시 감격하고 있는 것도 아니다.

必ずしも感激しているわけでもない。(高、p80)^{註5}

- (5) 실사회로 나오고 나서도 생각난 것처럼 아주 가끔씩 귀성하는 정도이다.

実社会へ出てからも思い出したように、ほんの時たま帰省するぐらいだ。(高、p122)

- (6) 이 남자의 크기를 굳이 인정하지 않으려는 듯이 노력하면서 눈을 돌리고있었다.

この男の大きさを敢えて認めないとするかのように努力しながら目を外向けていた。(日本現代、p112)

- (7) 아이들 사이에는 작은 새를 잡는 일이 유행하기 시작한다.

子供たちの間には小鳥をとるわなが流行し始める。(中、p66)

全部で166例出てきたが、この漢語動詞は日本語・韓国語ともに自動詞に属するもので、両方とも「～が～する」の構文を持っている。

「独立、散歩、往復、結婚、外出、参加、入場、発展、連絡、活躍、出世、成功、興奮…」

などのように人間の主体的な動作を表すものが多いが、(7)の例文のように人間以外のものが主体として表れる場合もある。

ところで、この場合韓国語では「유행(流行)하다」を「유행되다」に変えてもおかしくないのである。もうすこし되다[toeda]に変えてもいいものをあげてみる。

- (8) 真・善・美という価値が、体系として、すなわち均衡をもった鼎として 成立するためには…(高、p108)

진·선·미라는 가치가 체계로서 즉, 균형을 가진 상징으로서 성립하기 위해서는…

=성립되기

- (9) 雪の色は、天候によって、実に微妙に 変化する。(北、p36)

눈의 색깔은 날씨에 따라 실로 미묘하게 변화한다.

=변화되다

両方とも(7)の例のように人間以外のものが主語として現れた場合である。この場合、하다[hada]とすると動詞の「動き」の意味が表れ、되다[toeda]にすると「自然にそうなる」つまり主語が動作主体にならないという状態の意味を持つようになるが、全体の意味はそれほど変わらない。되다[toeda]はもともと「なる」の意味を持つ動詞なので、主体が意志がなく自発的に「～なる」の意味のところには使われてもおかしくない。そのためこのような場合、韓国の日本語学習者は日本語の文章をつくる時、韓国語の되다[toeda]を「漢語+する」のところにあてはめて「漢語+なる」または「漢語+になる」をつけてしまうのである。

「成立、感動、流行、発達、発足、分裂、登場、倒着、沈没、上昇、減少、変化」

などが하다[hada]とも되다[toeda]ともなりやすい自動性の漢語である。

これらのほとんどは主語が意志がないとき、または「状態変化」を表すとき、되다[toeda]になりやすい。되다になった場合、誤用が多くなるわけだが、教師はこれらの漢語を学生たちに提示し、注意させる必要があると思う。そして主語に意志がなく、状態を表すときでも、韓国語の文章と関係なく「する」をつけるように指導しなければならない。そうすることによって「～になる」の誤用はかなり防げると思われる。

2.2 他動詞の漢語+する

하다[hada]で訳されたものなかでもっとも多かった(247例、43.0%)のはこの他動詞の漢語動詞である。日本語も韓国語も他動詞のもので「～を～する」という構文を持っている。

(10) 다만... 뭐라고 설명하면 좋을까?

ただ…なんと説明したらいいのだろう。(阿、p92)

(11) 낮에 만났던 인물도 곧 달려와서 증언했다.

昼会っていた人物もすぐかけつけて証言した。(空、p106)

(12) 이미 다음 사람이 주문한 커피를 마르고 있던 여자 점원이...

もう次の人が注文したコーヒーを注ぎかけていた女店員さんが

…(日、p14)

(13) 불단 서랍에 있던 유서를 발견하여 개봉했다.

仏壇の引出しにあった遺書を見つけて開封した。(夫、p116)

この漢語動詞の日本語の「する」と韓国語の하다[hada]はかなり規則的に対応しているので学生にとってそれほどむずかしくなく、あまり間違いのないものである。

「弁護、理解、保存、報告、主張、検討、通知、分析、編成、評価…」などがある。

2.3 自、他両方に用いられる漢語+する

これは自動詞としても他動詞としても用いられたり、日本語と韓国語と自・他の区別が違ったりする。ここでは하다[hada]で表現されているが、この漢語動詞のなかには文脈によって되다[toeda]がつくものもある。それについては次の되다[toeda]の項目で述べることにする。

(14) 시아주버니는 그것을 딱하다고 동정하여(他)…

兄は、それを気の毒だと同情し(自)、…(北、p72)

(15) 변화가 있다고 한다면 실패하는(自、他)^{#6} 일뿐이지.

変化があるとすれば、失敗する(自)ことだけだ。(夫、p42)

(16) 브로냐는 동생의 착한 마음에 눈물을 흘리며 감사했다(自、他).

ブローニャは妹のやさしい心になみだを流して感謝した(他)。

(小、p144)

(17) 어째서 예수가 반발할(自) 필요가 있나?

なぜ、キリストが反発する(自、他)必要があるんだ。(夫、p86)

(18) 인생을 재구성하고 인간성을 회복하고자(自、他) 하는 극히 로맨틱한 운동이다.

人生を再構成し、人間性を回復しようと(自、他)いう極めてロマンチックな運動である。(高、p168)

この他に「発動、賛成、抗議、回転、呼吸、忠告、貯金、変形、発生、錯覚、…」などがある。これらの例には되다[toeda]がつきにくく、하다[hada]のほうがつきやすい。従って하다[hada]のところに「する」が対応するのであまり問題にならないのである。

3. 되다[toeda]で訳されたもの

3.1 自動詞の漢語+する

되다[toeda]で訳された自動詞の漢語動詞のなかには「成立、発達…」のように하다[hada]と되다[toeda]両方つく自動詞の漢語動詞もあるし、「判明」のように되다しかつかないものがある。まず되다しかつかない例をみってみる。

(19) 그럼 상식이 통용되지 않습니다.

そういう常識が通用しないのです。(空、p58)

(20) 소에다고이치가 마약밀수의 숨은 보스의 한사람이었음이 판명된 것은…

添田恒一が麻薬密輸のかくれたボスの一人だったことが判明したのは…(日本推理、p120)

(21) 가치체계가 붕괴되어 버린 것이 현대의 특질이며…

価値の体系が崩壊してしまったことが、現代の特質であり…

(高、p106)

「孤立、共通、好転、感染、悪化、進展、消失、停電、発覚、密着、矛盾、欠如、弱化、麻痺、決裂、帰路、満了、停滞、高潮、当選、汚染、波及、流出、…」。^{注7}

これらの漢語はいずれも하다[hada]がつきにくく、되다[toeda]しかつかないものである。日本語・韓国語ともに自動詞となるもので「～が～する」の構文を持っている。それに、動作を表すものではなく、状態の変化を表すものであるということがわかる。主語には意志を表す人間が来るのではなく抽象物の場合が多く、(20)の例(添田恒一)のように人間が主語であっても

対象として現れていることがわかる。このように状態の変化を表す場合、韓国の漢語には되다[toeda]がつきやすいが、日本語を教える教師はこれらの漢語に注意し、韓国語で되다[toeda]がつく場合も日本語では「する」がつくことを注意しておかなければならない。韓国の学生は(1)と(2)の例の「判明になりました」と「当選になりました」のように、韓国語を直訳してしまうからである。また、되다は「する」の受身を表す「される」の意味もあるので、「判明される」が出たり、(2)の「安定され」のような誤用も出てくる。「される」については次の項目で述べるが、いずれにしても教師は「～が～する」の構文を持っていて、状態の変化を表す場合は「～になる」や「～される」にならないよう指導しなければならない。

このほか韓国語で하다[hada]も되다[toeda]もつく漢語動詞が되다[toeda]で訳されたものがあるが、それについてはすでに<2-1>の項目で述べてあるのでここでは省くことにする。

3.2 他動詞の漢語+する

他動詞の漢語動詞が되다[toeda]に訳されたものはあまり多くなく、4例しかない。

(22) 하나하나 깔끔하게 포장된 것이 꽉 채워져 있었어.

ひとつひとつきちんと包装した奴がギッチリつめこんであった。

(星、p20)

(23) 나의 마음에 우울함이 완성될 때에만 나의 마음은 온화해진다.

俺の心に憂鬱が完成するときにばかり、俺の心は和んで来る。

(日本現代、p140)

(24) 절개해보고 싶을 정도의 통증이다. 그 절개에서 연상된 걸까…

切開してみたいような痛さだ。その切開から連想したのか…(北、p34)

(25) 조용히 긴장된, 겸허에 충실한 일상 생활이 결여되어 있었던 것이다.

静かに緊張した、謙虚に充実した、日常生活が欠けていたのである。

(日随筆、p28)

これらは日本語、韓国語ともに他動詞であるが、ここでは「～を～する」という他動の構文ではなく、状態変化した結果が示されたものである。これは他動詞であるので一般的に되다[toeda]より하다[hada]の場合が多い。従って되다[toeda]による誤用はあまり多くないが、ここの例のように対象の「～を」が表れないで「(～が)～する」の形をしたときもあるので注意しなければならない。特に(25)例の「緊張」は하다[hada]より되다[toeda]につきやすいのでそれによる誤用(例:緊張になる)もよく目につく。学生たちに注意しておく必要のあるものである。

3.3 自、他両方に用いられる漢語+する

これは自動詞に用いられたり、他動詞に用いられるもので、日本語と韓国語と自・他の区別が違うものである。하다[hada]で表現されるものについてはすでに<2-3>の項目で述べたが、これらの漢語は되다[toeda]がつきやすいものである。

(26) 그 나름대로 긴장감 있게 전개되어(自、他)、 1점 차의 균형 잡힌 좋은 게임이 되고 있었다.

それなりに締まって展開し(自、他)、一点差の均衡した好ゲームになっていた。(中、p112)

(27) 자살의 원인이 해소되면(他) 밧줄은 사라져 버린다...

自殺の原因が解消すれば(自、他)、繩は消えてしまう...(阿、p158)

(28) 이쪽까지 화기가 반사되어(自、他) 오프로 만조의 강물에 방석을 적셔서는 머리에 쓴다.

こちら側までほてりが反射して(自、他)くるので、満潮の川水に座布団を浸して頭にかむる。(中、p192)

(29) 쇼와 30년, 증대되는(自、他) 전력의 수요를 채우기 위해...

昭和三十年、増大する(自、他)電力の需要を満たすために、...

(小、p164)

(30) 자신이 흔들리면서 이동되고(自、他) 있는 것조차 알아차리지 못하고

있었다.

自分が揺れながら移動して(自、他)いることにさえ気づかずにいた。(空、p6)

(31) 당장 필요한 것은 스즈코의 몸이 회복되는(自、他) 것뿐이다.

さし当って必要なことは、鈴子の体が恢復する(自、他)ことだけだった。(夫、p184)

この他「解散、持続、予想、解決、変形、定着、転覆、集結、停止、増価、台頭、露出、分離、再現、固定、実現、反映、結合、集決」などがある。

この漢語のなかで(26)～(29)の例は하다[hada]がつくと不自然なものになり、主に되다[toeda]がつくが、(30)(31)の例は他動詞の構文をとると하다[hada]((18)の例文、회복하다 → 回復する)がつくものである。하다[hada]がつく場合にはあまり問題にならないが、되다[toeda]になった場合、韓国の学生はそれを「～になる」にしたり、または「される」という日本語にしまうのである。その場合、自動詞として用いられる漢語((3)の例、安定する)は「する」に直すように指導すればいい。しかし他動詞として受身の形になっている構文では「される」の形にしてもいいので、一概に全部「する」にするよう指導するわけにはいかない。(27)の例も〈解消されれば〉にしてもおかしくないのである。「する」と「される」の区別について生越氏は^{註8}

「日本語スル形・サレル形の区別は、主語に対する積極的な働きかけの有無による。主語に対する働きかけがあり、動作主と対象の関係が成立するときは、サレル形が用いられる。一方、主語に対する働きかけがなく、動作主と対象の関係が成立しないときスル形が用いられる」

と指摘している。しかし受身構文では動作主が脱落することもあるので、自動詞構文なのか受身構文なのか区別のつかないのも多い。これについて指摘してある指導書や参考書もない。そのため、これを指導する教師もかなり混乱を感じてしまうが、動作主の関係がはっきりしている受身構文の場合は「される」にし、自動詞構文を含む他のものは「する」にするよう指導すれ

ばかなりの誤用はなくなると思う。

3.4 漢語+してある

漢語動詞が「～てある」の形をとると、韓国語では状態を表す場合、「되어있다」[toeaitta]で表現される。「する」と되다[toeda]の問題よりアスペクトの問題であるが、되다をもって表現されているのでいくつか例をあげておく。

(32) 1층에 고고학이며 인류학에 관한 것이 전시되어 있고…

一階に考古学や人類学に関するものが展示してあり…(小、p54)

(33) 이것은 브뤼셀 미술관 2층에 진열되어 있는 것을 1년 반 동안의 벨기에 체류중에…

これはブレッセル美術館の二階に陳列してあるのを、一年半のベルギー滞在中…(日随筆、p18)

(34) 라켓에 전송기가 연결되어 있는 것이다.

ラケットにトランスミッションが連結してあるのである。(高、p180)

3.5 「漢語+される」

他動詞の漢語動詞が受身形になって「される」がつくと、韓国語ではほとんど되다で解釈される。되다[toeda]のほかに받다[patta]、당하다[danghada]などがあるが、ここでは되다[toeda]だけを対象にした。

「される」がつく漢語動詞は日本語・韓国語ともに他動詞である。「される」は主語に対し積極的な働きかけを行う動作主の存在を前提として成り立っているということはすでに指摘したが、되다は韓国語の「される」と「～になる」の両方の意味を持っているため、次のように「される」を「～になる」にする誤りをおかすようになる。

(35) 經濟の新聞に紹介になりました。

初級段階で多く見られる誤用であるが、これは受身形の作り方を覚えれば

徐々になくなる問題であろう。「される」で表現される受身の文章に数多く接し、身につけておけば、日本語の受身の文章をつくる時「される」を「～になる」にする誤用はある程度回避できると思う。

(36) 금·토·일 3일간의 휴일동안에 새 직장으로 배치되었습니다.

金・土・일 三日間の休日の中に、新しい職場へ配置されたんです。

(空、p128)

(37) 종이는 나무에서 생산되는 거잖소.

紙は木から生産されるんだよ。(北、p48)

(38) 못생긴 여자애라고 기억되기 보다는 차라리 있었다는 것조차…

器量の悪い娘だと記憶されるよりは、せめて、いたことをさえ…

(夫、p150)

(39) 이듬해 마리는 피에르의 후임으로서 물리학의 주임교수로 천되었다.

翌年、マリーは、ピエールの後任として、物理学の主任教授に推薦された。

(小、p158)

この他「派遣、保護、実行、製造、意識、発見、要求、解釈、理解、開始…」など多くの他動詞の漢語動詞に「される」がつくと되다[toeda]に解釈される。

3.6 「漢語+になる」

韓国語では他動詞の漢語動詞で、되다[toeda]がつくが、日本語では「～になる」の形をしたものが今回の資料のなかでは2例出てくる。

(40) 그것은 경계 경보가 해제되고 얼마 안있어서의 일이었다.

あれは警戒警報が解除になってまもなくのことであった。(中、p194)

(41) 그렇다고 해서 남이 희생이 되는 것을 방해할 권리도 가지고 있지 않습니다.

そうかといって人が犠牲になるのを妨げる権利も持っていません。

(高、p204)

(40)の日本語の「解除」は辞書に他動詞の漢語動詞として出ているが、「犠牲」は名詞となっている。日本語は両方とも「～になる」になっているが、韓国の表現は「解除」は「なる」の意味의 ㅅㅌ다だけがついていて、「犠牲」は「～になる」の意味의 이 ㅅㅌ다の形になっている。あとの3回の例も同じである。これは韓国語では「解除」よりは「犠牲」の方が名詞の独立性の強い漢語とも言えるが、いずれにせよ両方ともかなり特殊な形である。このようなものはそれほど多くないようである。

おわりに

本稿では韓国で翻訳されている日本語の資料を用いて、日本語の漢語動詞を扱うとき、韓国人学習者がどんな誤りを犯すかを韓国語의 ㅅㅌ다[toeda]の多義性から考えてみた。

結果をまとめてみると、韓国語を母語としている学習者は日本語の漢語動詞が他動詞として使われるときは、あまり間違いがない。一方、自動詞の構文に使われ、主語に意志がなく、状態の変化などを表すときは、漢語動詞「する」を「～になる」と「～される」にする傾向が多かった。これは母語である韓国語の影響で、韓国語の自動性の漢語には「～になる」や「～される」の意味を持つ ㅅㅌ다[toeda]がつきやすいからである。このような母語の影響はかなり根づよいもので上級の日本語学習者にもよく表れるので、注意して教えなければならない。

また自、他両用として使われる日本語の漢語動詞は日本語でも韓国語でも自動詞構文になる。日本語に訳すときに「～する」にしたり、受身構文の「～される」にしたりする場合があるので、 ㅅㅌ다[toeda]の表現をすべて「～する」と教えるわけにはいかないことがわかった。この他、受身の形をしている「漢語+される」を「漢語+になる」にする誤用もあったが、このような問題は受身形を習得し「漢語+される」の形に慣れてくれば徐々になくなる問題であると思われる。

以上、韓国人学習者に漢語動詞の誤りが多い原因を考えてみた。教師は日本語を指導するにあたって、常に誤用の理由を考え、それを認識させなければ

ばならないと思う。語彙の例をあげ、漢語の自・他を区別させ、前もってその用法を説明し、納得させておけば繰り返される誤用を防ぐことは可能だと思われる。

注

- 1 되다[toeda]は「なる」に当たる言葉であるが、日本語に変えるときは「なる」の前に助詞「に」をつけて「～になる」にしてしまう。これは되다の前の韓国語の助詞「이[i]」や「가[ka]」を日本語になおしたことになるが、韓国語のほうに「이」や「가」の助詞がつかなくても「～になる」に変える傾向が多い。そのほうが日本語としてより自然だと思うからであろう。
- 2 韓国の「다락원」で出版された「日韓対訳文庫」。そのなかから10冊を選んで用例をとる。

『小学校教科書選』小川夫明(他)

『中学校教科書選』夏目漱石(他)

『高教教科書選』井上靖(他)

『日本現代短篇文学選』大岡昇平(他)

『日本の名随筆』立原正秋(他)

『空想科学小説選』星新一(他)

『阿刀田高ミステリ短編選』阿刀田高(他)

『日本推理小説選』高木彬光(他)

『夫婦の情景』曾野綾子

『北国日記』三浦綾子

- 3 日本語は「岩波国語辞典第三版(1980年)」、韓国語は「東亜新国語辞典」(1997年)による。
- 4 表に並べた漢語の順序は便宜的に並べただけで数の多い順ではない。なお、計の数字は「異なり数」である。
- 5 (中、p66)と記したのは「中学校教科書選」のp66からとった例文であることを示す。
- 6 用例中の使い方ではなく、辞書に表れている表記である。
- 7 今回調べた例以外のものもあげておく。

- 8 生越直樹(1982)「日本語漢語動詞における能動と受動—朝鮮語hata動詞との対照」
『日本語教育48号』53～65。

参考文献

- 柴公也(1986)「漢語動詞」の態をいかに教えるか—韓国人学生に対して—、『日本語教育
59号』、144～156
- 韓有錫(1990)「漢語動詞「-スル」と「-toeda」の日韓対照研究」、『国語国文学67号』名古屋
大学、104～120
- 生越直樹(1992)「韓国人日本語学習者のボイスに関する誤用—漢語動詞の誤用を中心に—」、
『教育実践研究指導センター紀要、1992、8号』横浜大学、159～166
- 辛碩基(1993)「日本語と韓国語の漢語動詞—受動の形態を中心として—」、『日本語と日本
文学 18号』筑波大学、12～21
- 남기삼·고영근(1985)『표준국어문법론』 탐출판사

(ハン ソンヒー)